

## 「シーリングスタンドの施工技術」



- 火災設備工事の天井裏配線や火災感知器の取付けが室内から容易にできます。
- 天井裏感知器の火災試験、作動の確認、取付け位置の確認が室内からできます。
- 火災設備工事の天井裏配線や火災感知器の取付けが室内から容易にでき、露出配線にならず、建物の内装イメージを損なうこともなく、仕上げ良く、体裁良くできます。
- 工期の短縮(1/2)、工費の低減(1/3)、作業が安全にでき、火災設備工事が容易になります。
- 火災試験、作動の確認、取付け位置の確認が室内からでき、メンテナンス業務が安全で容易になります。

＜火災設備工事が室内から一括にできる「シーリングスタンドの施工技術」＞



〔天井裏配線(入線工事)〕



〔天井裏に挿入〕



〔火災試験(天井面)〕



〔火災試験(天井裏)〕

- ◇ 天井仕上げ材に取付けができるシーリングスタンド(点検口付感知器金具)です。
- ◇ 体裁が良く、簡単にワンタッチ取付けができます。
- ◇ 天井仕上げ材や天井下地材の補修工事が不要で専門の業者も不要です。
- ◇ 天井下地材のない天井(和室天井等)にも取付けができます。
- ◇ 蓋に配線器具、各種センサの取付けや取替えが天井面ではなく床面で容易にできます。
- ◇ 火災感知器を取り外さなくても接続の確認、点検ができ、方向も自由に変えられます。

◆ 新築、リフォーム、増改築の火災設備工事にご使用下さい。

スペースワークス

# 火災設備工事が簡単にできる／シーリングスタンドの施工技術／施工例

体裁が良く作業効率の良い火災設備工事

## <シーリングスタンドの施工技術（施工例）>



### 【 構造・機能 】

#### 【シーリングホールの施工技術の概要】

#### ■シーリングスタンドの設置工事

##### 【1】天井ボードの開口

- (1) 室内から天井ボードをボードカッターやダウンライトカッターで開口します。
- (2) 必要な数量の穴を開けます。
- (3) 開口した天井ボードをシーリングスタンドの蓋に嵌め込みます。

##### 【2】天井裏の配線(入線)工事

- (1) 一方の穴からケーブルキャッチャー(構造は釣り竿)を挿入し引き伸ばして、他方の穴より、その先端に電線を引っ掛けて、ケーブルキャッチャーを引き戻すことで電線が天井裏に配線します。
- (2) この方法で必要な配線を全て行う。室内から天井裏に電線の配線を行う。(天井裏隠蔽配線)

##### 【3】天井裏高さの寸法取り、シーリングスタンドの高さ設定

- (1) 天井裏(フコロ)高さ寸法取り、天井裏火災感知器(シーリングスタンド)の取付高設定します。

##### 【4】火災感知器の取付け

- (1) スタンド部に火災感知器を取付け、配線した電線に接続します。(天井裏感知器)
- (2) シーリングスタンドの蓋に火災感知器を取付け、配線した電線に接続します。(天井面感知器)

##### 【5】シーリングスタンドの取付け

- (1) 天井ボードに開口した穴にシーリングスタンドを取付けます。
- (2) 蓋をシーリングスタンド本体に嵌め込みます。

##### 【6】火災設備工事が全て完了します。

#### ■シーリングスタンドの火災試験

##### 【1】火災試験:(天井面)および(天井裏)

- (1) シーリングスタンドの蓋に取付けた火災感知器は、火災試験器で作動試験を行います。(天井面)
- (2) シーリングスタンドのスタンド部に取付けた火災感知器は、蓋を開け火災試験器を挿入して、作動試験を行います。(天井裏)
- (3) シーリングスタンドの蓋を閉める。火災試験が完了します。

### 【仕様】

#### 【1】シーリングスタンド[8TK-175ST(W)] / (1)材質…鋼・標準仕様

| 型 式         | 形 状        | 埋込寸法 | 埋込高      | 取付枠及び蓋の表面仕上 | 重量    | 標準価格   |
|-------------|------------|------|----------|-------------|-------|--------|
| MT-175ST(W) | Wφ195・H200 | φ175 | H200～800 | オフホワイト(艶消し) | 0.6kg | ¥5,500 |

〔備考1〕:シーリングホールの取付けは、ダウンライト(照明器具)と同様の取付方法。

〔備考2〕:安全対策:本体(取付枠)の落下防止金具及び蓋の落下防止金具。

〔備考3〕:火災感知器は市販製品をご使用下さい。